

あさがよ。

2024.3 発刊
asagao-48号

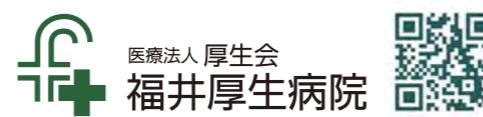


▲院内研究発表会の様子

医療現場で働く私たちは臨床が第一の仕事ですが、その他に教育と研究という大切な仕事があります。すべての教育・研究は臨床医療につながるとの思いから、研究発表会を開催しています。この院内研究発表会が2024年1月に4年ぶりに行われました。様々な職種のスタッフが参加して、充実したものとなりました。

SPECIAL

病院で活躍中！資格を持つスタッフたち
からだにやさしいレシピ
えんげき操



〒918-8135 福井県福井市下六条町1-6-1
TEL (0776)41-3377

からだにやさしいレシピ 「鶏肉とブロッコリーのクリーム煮（2人分）」

鶏もも肉	1/2枚	水	300mL
ブロッコリー	1/2株	豆乳or牛乳	200mL
人参	1/3本	固体コンソメ	1個
		塩こしょう	適量
		水溶き片栗粉	

- ① 鶏肉・ブロッコリーは一口大に、人参は乱切りに切る。
- ② ①と水、固体コンソメを鍋に入れて中火で火が通るまで煮る。
- ③ 豆乳を加え弱火で1~2分程煮込み、塩こしょうで味を調える。
- ④ 火を止めて、水溶き片栗粉でとろみをつける。



亜鉛は牡蠣やお肉に豊富に含まれており、傷の治りや味覚、免疫機能、貧血などに関わる重要な栄養素です。食事量が少ない高齢者や、お肉をほとんど食べない人では不足することがあります。ビタミンCと一緒に食べると吸収率が増加するため、ブロッコリーやパプリカ、旬の芽キャベツなどと料理するのがオススメです。摂りすぎは胃の不快感や貧血などの過剰症を引き起こすので、サプリメントや亜鉛強化食品を利用する場合は注意が必要です。



座ったままできる「えんげき体操」

えんげとは飲み込みのことを言います。えんげき体操は、食べるための筋肉のトレーニングとしてだけでなく、表情や発音のトレーニングにもなります。笑顔を作ることや楽しくおしゃべりをすることにも繋がりますので、ぜひ取り組んでみてください。

えんげたいそう 嚥下体操

まずは姿勢を整える！

- ・椅子に深く座る
- ・背筋を伸ばす
- ・両足をしっかりと地面に着ける

①深呼吸

お腹に手を当てて、ゆっくりと深呼吸。



②肩の運動

肩をまわします。
前から後ろ、後ろから前へと、どちらもゆっくりと。



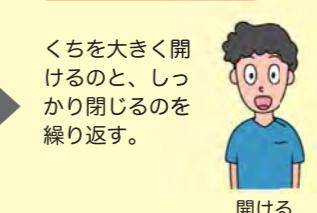
③首の運動

首をまわします。
右回し、左回し、両方とも。



④くちの運動

くちを大きく開けるのと、しっかり閉じるのを繰り返す。

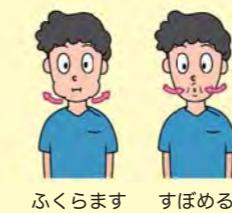


⑤くちの運動2

「い～」と横に引く。
「う～」と尖らせる。
横向き 前に

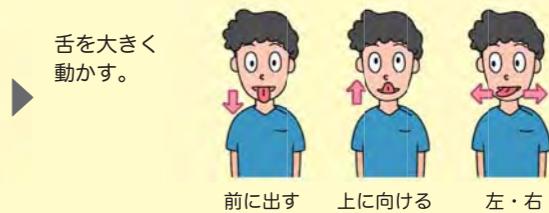
⑥頬の運動

ほっぺたに空気をためて膨らませる、反対にすぼめる繰り返す。



⑦舌の運動

舌を大きく動かす。



⑧発音練習

「パ・タ・カ・ラ」
それぞれを、ゆっくりはっきりと繰り返す。



リハツバタ

次号予告 ▶ 2024年新入職員紹介 ▶ からだにやさしいレシピ

病院の情報はホームページ(<https://koseikaigroup.jp/>)をCHECK！



病院で活躍中！ 認定・資格を持つスペシャリストたち

認定看護師

認定看護師とは？

看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める600時間以上の認定看護師教育を修め、認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。審査合格後は認定看護師としての活動と自己研鑽の実績を積み、5年ごとに資格を更新しています。（出展：日本看護協会）

認定看護師の役割とは？

専門知識を活かして、患者さんとその家族の相談にのったり、ケアの実施を行ったりすることができます。また他の看護師を始めとした全職員に対しても質の高いケアの実践のために相談や指導をしています。

当院では2024年3月現在、皮膚・排泄ケア、認知症看護、感染管理の3分野、4名の認定看護師が活躍しています。

認知症看護認定看護師



認知症患者さんとそのご家族が困っていることに支援します。多職種で連携を図り、スタッフが悩んでいる時は一緒に適切な対応を考えます。患者さんが笑顔で入院生活をおくれるように、入院前の環境に戻り安心して暮らすことを目標に活動しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師



ストーマがあっても安心して快適に日常生活を送れるよう、退院後でもオストメイトとの関わりを継続しています。皮膚・排泄に関して困った事や不安が少しでも解消できるように一緒に解決方法を考えます。

感染管理認定看護師



患者と職員のために感染管理に係ることで自分にできることはどんなことでも行っています。数字で表せることは、改善することが可能です。院内の感染管理上の問題は、モニタリングし評価しながら改善を目指します。

感染管理は多職種と連携しながら、患者と医療に携わるすべての人を対象に、組織の中で役割を果たしていく必要があります。その中でまずは、「患者さんにとってベストなことは何か？」を常に考えるように意識しています。

認定看護師だけでなく、いろいろな認定や資格を持つスタッフがいます。認定の取得には経験と知識が必要です。医療とその技術の発展・開発によって、治療等が複雑になっているなか、より専門的な知識が必要な時があります。その際、各分野のスタッフが医療従事者に情報を提供するなどして連携しています。

薬剤課



学会認定薬剤師が4名います。

- ・抗菌化学療法認定薬剤師
- ・緩和薬物療法認定薬剤師
- ・外来がん治療認定薬剤師
- ・栄養サポートチーム認定薬剤師
- ・病院薬学認定薬剤師

画像課



当院では、6名の放射線技師が学会等の認定を持っています。

- ・マンモグラフィー検診精度管理中央委員会認定技師
- ・X線CT撮影認定技師
- ・胃透視撮影認定技師
- ・超音波検査士

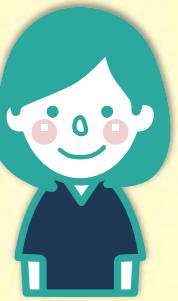
検査課



5名の臨床検査技師が認定資格を持っております。

- ・超音波検査士
- ・細胞検査士（国内・国際）
- ・2級病理士
- ・糖尿病療養指導士
- ・上級健康食品管理士

栄養課



当院の栄養士が保有している資格は次の通りです。

- ・病態栄養専門管理栄養士
- ・がん病態栄養専門管理栄養士
- ・臨床栄養代謝専門療法士
- ・糖尿病療養指導士

臨床工学課



2名の臨床工学技士が下記の認定をもっています。

- ・日本不整脈心電図学会 心電図検定2級
- ・透析技術認定士
- ・日本医療機器学会
医療機器情報コミュニケーター（MDIC）

リハビリ課



次のような資格を保有しているスタッフがいます。

- ・医学博士
- ・心臓リハ指揮士
- ・心大血管認定理学療法士
- ・呼吸器認定理学療法士
- ・アスレティックトレーナー
- ・3学会合同呼吸療法認定士
- ・糖尿病療養指導士
- ほか 数多

医療情報システム課



医療情報技師2名、診療情報管理士2名がいます。

電子カルテ、検査、透析等の医療システムに加え、IT関連機器の保守を行うスタッフと診療録（カルテ）の運用や管理を専門とするスタッフがいる部署です。

病院の情報を発信しています！

福井厚生病院ホームページ
<https://koseikaigroup.jp/>



Facebookページ



Instagram



ぜひご覧下さい。